

【別紙】平成27年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立川口高等学校)

学校教育目標	教育基本法および学校教育法にのっとり、中学校における教育を発展充実させて、高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、もって、高潔にして調和のとれた人格を備え、民主的な国家・社会の形成者としての自覚と責任感と実践力に満ちた、心身ともに健全な国民の育成を期する。
目指す学校像	・高い志と使命感を育み、人や社会に貢献する生徒を輩出する学校 ・豊かな心と健やかな体、高い学力を育成し、自己実現を通じて、愛着と誇りのある学校 ・関係者、地域の期待に応え、よき伝統を受け継ぎ、新校へ円滑に引き継ぐ、信頼される学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 (教職員を除く) 5名 事務局 (教職員) 15名
-----	------------------------------------

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (平成28年2月1日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・学年や分掌等が創意工夫を常に行い、様々な組織が活動を行っている。一方、学校全体での継続的な取り組みに改善が必要である。 ・市立3校統合に向けて、各検討部会と連携し、円滑な統合を目指す必要がある。	・組織的な教育活動と連携したチーム川口としての各学年・分掌等の取り組みと連携の強化 ・市立3校統合に向けて、各検討部会と連携し、円滑な統合を目指す。	○学校自己評価重点目標シートと学年・分掌・委員会・教科・個人を連携させる。 ○学校・学年・分掌・委員会・教科において中間評価を導入する。 ○日々の教育活動を安心して行うため、学年・学校全体集会での、事故防止指導を徹底する。また、自転車マナーアップ推進校として交通事故防止、登校指導・自転車点検、乗り方指導、交通安全教室等を行う。 ○市との会議による進捗状況を職員会議等で周知する。	・チーム川口としての各学年・分掌等の取り組みと連携の強化を行った。①学校のシートと学年・分掌・委員会・教科・個人を連携②学校・学年・分掌・委員会・教科において中間評価を導入③学年・学校全体集会での、交通事故防止指導及び、登校指導 (各学期5日間) ・自転車点検 (4回) ・新入生への乗り方指導、立哨指導、交通安全運動街頭キャンペーン参加。 ・市立3校統合の進捗状況を職員会議等で周知。準備委員会での内容のファイルを職員閲覧に用意	B B
教育課程	・一昨年の国立大学7名合格や昨年の有名私立大学合格など、本校の教育活動で一定の成果が表れている。そのような中、志や使命感を持った生徒を育む支援体制が必要である。	・生徒一人一人に応じた適切かつ大きな目標の実現とそれを支える教育課程の実施と検討改善 ・勉強と部活動に取り組むとともに、バランスのある生徒の育成	○生徒の希望を尊重する中で、国公立、有名私立大学合格者の増加を図る進路指導部を中心として、学年・教科が一体となった進路指導を行う。 ○センター試験受験を励行し、受験者数200人以上となるような進路指導を行う。 ○クラスごとのアナウンスを積極的に行い、生徒の受験サプリの利用率をあげる。 ○勉強と部活動の両立を生徒に励行する。	・生徒一人一人に応じた適切かつ目標実現を支える取組を実施した。①進路指導部が中心となり、国公立受験に向けてガイダンスや面談を行い、意識を高めた。②情報誌WLLを発行し、目標を高めるとともに勉強法も紹介③センター試験受験者数は過去最高の160名を達成④受験サプリの利用率は3年生はかなり良いが、1・2年生の利用率が低い。 ・勉強と部活動に取り組むバランスのある生徒の育成を行った。部活動加入者数755名	B B
開かれた学校づくり	・授業公開や学校説明会、中学校訪問などで、本校に対する一定の理解は進んでいる。一方、現在の取り組みを一層充実させながら、新校開設に向け、更なる理解を得る必要がある。 ・地域との関係を一層良好にする必要がある。	・本校の更なる情報発信と、応援者 (理解者) の拡大 ・地域や関係機関との連携の強化	○従来の中学校訪問を継続しつつ、関係各機関との連携を深め、本校の情報提供を行う。 ○各学年、各部活動の理解を得て、中学校との連携を深める。 ○土曜日の公開授業や学校説明会のポスターによるPRを行う。 ○学校教育活動のホームページ更新数を増やす。 ○地域との連携 (幼稚園、小学校との交流事業の実施、中学校とのスポーツ交流、幼・小・中学校PTAとの交流) を深める。	・本校の情報発信と応援者の拡大に組み、地域や関係機関との連携を強化した。①従来の中学校訪問を継続しつつ、塾訪問も実施②部活動見学や練習への参加などを実施③土曜日の公開授業を実施 (年15回) 。④ホームページデータを若干更新 ○幼稚園、小学校との交流事業を1月実施②中学校とのスポーツ交流や、幼・小・中学校PTAとの交流として、ソフトボール大会に参加。	B A
教職員の資質向上	・本校教員の授業力は高い。しかし、現在の進学実績を一層伸ばし、新校に向けて一層授業力向上を図る必要がある。	・保護者・生徒から一層支持される教員の資質向上 ・互いに切磋琢磨して、指導力を向上させる教員集団の形成	○センター試験を想定した授業レベルを積極的に取り入れる。(全教科において全国平均点超えを目指す。) ○授業公開を実施する。 ○教員の授業力向上のための研修の機会を増やすため、教員同士の授業観察を積極的に行う。 ○生徒による授業評価を行う。 ○教育機関・教育相談関係者等講師を招いての研修会を実施する。 ○教育機関等の研修に積極的に参加し、授業力向上を行い、教科間での情報を共有する。	・保護者・生徒から一層支持される教員の資質向上を行うとともに、指導力を向上させる教員集団の形成に取り組んだ。①センター試験を想定した授業レベル・内容 (文系科目ではほぼ全科目で全国平均点超え。一方、理系科目においては、若干下回った。) ②授業公開を実施 (年15回) 。 ○教員同士の授業観察の機会を整備②生徒による授業評価を実施③教育相談関係者 (特別支援) 講師を招いて研修会を実施④教育機関等の研修をアナウンスし、授業力向上のシンポジウムに参加。	B B
施設・設備等の管理	・60年の伝統がある古い学校ではあるが、生徒の学びの場として、安全・安心な施設・設備の管理を徹底していく。	・安心・安全を踏まえた施設・設備等の管理徹底及び、効果的・効率的な予算執行 ・非常災害時における緊急対応の整備を推進する必要がある。	○学期ごとの施設点検と必要な補修を行う。 ○朝夕、清掃時、授業や部活動等における日常点検を実施する。 ○節電・節水の励行を適時適切に呼びかける。 ○非常災害時における対応体制を確認し、必要に応じて見直す。 ○非常用メール配信の整備を行い、加入率を上げる。	・施設・設備等の管理徹底及び、効果的・効率的な予算執行を行った。①学期ごとに施設点検と必要な補修を実施②朝夕、清掃時、授業や部活動等における日常点検を実施③エアコンの節電の呼びかけを実施 ○非常災害時における対応体制を確認②非常用メール配信の整備を行い、必要な情報を配信	B B

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	平成28年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
出席者	学校関係者 (教職員を除く) 5名 事務局 (教職員) 15名
※実施日	平成28年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・組織運営が十分であるが、一部、教職員のコミュニケーションの不足を感じる場面も見受けられる。 ・チーム川口としての各学年・分掌等の取り組みの連携強化ができた。 ・市立3校統合の準備を、今後も、市教育委員会と連携して行ってほしい。	・コミュニケーション能力の向上が図れるカリキュラムの増設を検討してほしい。 ・受験サプリ等を取り入れるなど、ICTを取り入れた教育の取り組みがよい。 ・土曜授業も引き続き実施して欲しい。 ・センター試験受験者数が過去最高の160名を達成できたことはとてもよかった。 ・勉強と部活動に取り組む、バランスのある生徒の育成で、部活動加入者が755名であることはとてもよい。
・学校ホームページの更新と更なる活用が必要である。 ・学校公開や近隣の幼稚園や小学校との交流事業を行っていることはとても良い。今後、地域と関係機関との連携を更に強化し、市立の学校として交流事業の枠を広げたり、ボランティア活動に力を入れてほしい。	・本校の情報発信を一層強化する必要がある。①従来の中学校訪問における、新校情報を確実に伝える。塾訪問も一層積極的に実施する②ホームページの更新を一層積極的に行う。
・学習面において、進学先を見ても全体的に向上している。 ・部活動では、優秀な成績を収めている部もあるが、生徒を伸ばす指導が不足している部もあるようである。 ・教職員、生徒の信頼関係が良好と思えず、相乗効果を多方面で期待したい。 ・教員同士の授業観察の機会を整備していることはよい。他の学校の授業観察を行い、教員の資質向上に一層繋げてほしい。	・大学進学実績を増やすため、教員の資質向上を一層行う必要がある。 ①教員同士の授業観察の機会を今年度以上に用意する。また、センター試験を想定した授業レベル・内容を一層積極的に取り入れた授業を行う。(全教科において全国平均点超えを目指す。)
・保護者に対する危機管理の意識向上を図る。 ・受験サプリを活用できるためのWiFi等のしようできる自習室の整備が図られている。 ・非常災害時における対応体制を確認し、非常用メールを活用し、必要な情報を今後も配信してほしい。	・施設・設備等の管理徹底、効果的・効率的な予算執行に取り組む。 ①朝夕、清掃時、授業や部活動等における日常点検の他、職員の日頃の気づきを大切に、必要な補修等に対して適切に対応。 非常用メール配信の整備を行い、必要な情報を配信